

## 銘柄分析レポート：四季報秋号で気になった銘柄（2019年版）

### 1 はじめに

会社四季報秋号を読み終えた後の、正直な読後感は次のとおりです。

**今の株式市場には、地雷がいっぱい埋まっている。**

見かけ上は低PER、高配当利回りの銘柄がゴロゴロしていたからです。しかし、その大半はシクリカル銘柄（景気循環株）で、景気が悪化すれば利益が大幅に落ち込み減配されるリスクを抱えています。最悪のケースでは、赤字を計上し無配に転落しても不思議ではありません。

ざっと計算してみたところ、利益・配当とも半減すれば「まあ、株価的にこんなものかな」といった感じの銘柄が多かったです。ここでの問題は、実際に半減で済むかどうかでしょう。前回の世界的大不況では、かのトヨタ自動車ですら最終赤字に陥りました。仮に半減で済んだとしても、投資家の投げ売りで株価がそれ以上に下落する可能性は十分にありえます。

#### ★三菱ケミカルHD（4188）



典型的なシクリカル銘柄の総合化学最大手。四季報秋号では予想PER 6.1倍、配当利回り5.55%。月足チャートは業績悪化を織り込む形で、2018年の年初より下降トレンドに転じている。